

# 平成25年度 土砂災害防止に関する絵画・作文 地方審査 入賞作品集

地方審査会事務局 山形県県土整備部

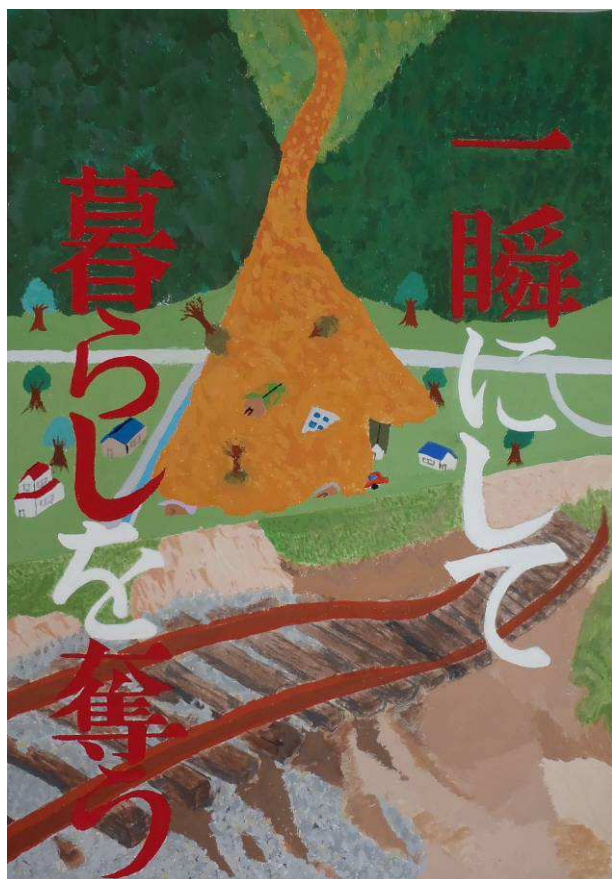
## 絵画部門

### 最優秀賞

(敬称略)

#### 小学生の部

#### 中学生の部



原田 雅也(はらだまさや)  
寒河江市立南部小学校 6年

西山 隼平(にしやまじゅんぺい)  
山形市立第十中学校 2年



# 優秀賞

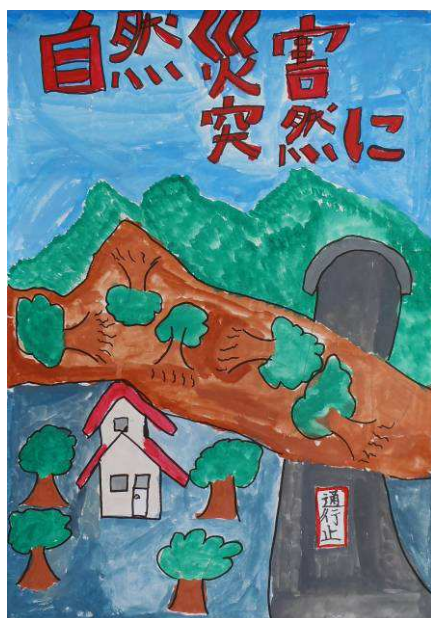
(敬称略)



白井 壮一郎(しらい そういちろう)  
東根市立東根中部小学校 3年



角田 真紘(かくた まひろ)  
川西町立吉島小学校 4年



江口 大世(えぐち たいせい)  
南陽市立荻小学校 5年



吉原 千尋(よしはら ちひろ)  
山形市立西小学校 6年



猪野 心晴(いの きよはる)  
上市市立西郷第一小学校 6年



小山田 航佑(おやまだ こうすけ)  
河北町立溝延小学校 6年



# 優秀賞

(敬称略)



高山りな(たかやまりな)  
山形市立第四中学校 三年



百田海渡(ももたかいと)  
米沢市立第四中学校 三年



高橋 悠愛佳(たかはし ゆめか)  
米沢市立南原中学校 3年

# 佳作



松田 愛琉(まつだ あいる)  
東根市立東根中部小学校 3年



阿部 未来叶(あべ みくと)  
東根市立東根中部小学校 3年



柳元 琉希(やなぎもと りゅうき)  
東根市立東根中部小学校 3年



# 佳作

(敬称略)



川合 胡春 (かわあい こはる)  
南陽市立荻小学校 3年



佐藤 瑞紗 (さとう みずさ)  
寒河江市立南部小学校 4年



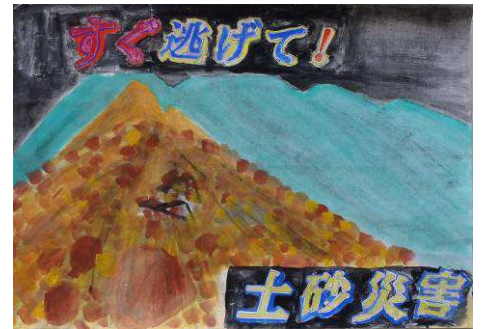
菊地 将太 (きくち しょうた)  
寒河江市立醍醐小学校 6年



奥山 晃希 (おくやま てるき)  
川西町立吉島小学校 6年



長谷川 凧 (はせがわ なぎ)  
山形市立第十中学校 1年



渡邊 薫平 (わたなべ くんぺい)  
高島町立第一中学校 1年



島崎 春香 (しまさき はるか)  
高島町立第一中学校 1年



遠藤 拓真 (えんどう たくま)  
高島町立第一中学校 1年



芦原 美咲 (あしはら みさき)  
山形市立第四中学校 3年



渡邊 壮太 (わたなべ そうた)  
高島町立第一中学校 3年

# 作文部門

(敬称略)

## 最優秀賞

鈴木 ひびき(すずき ひびき) 白鷹町立鮎貝小学校 3年



### 『こわかった土しゃさいがい』

7月18日に、わたしの住んでいる白たか町に大雨がふりました。学校から帰る時、先生から、「近くの川があふれたので、川の近くで遊んだり、近よったりしないでください。」というお話がありました。気をつけて家に帰ると、わたしの家にも川からあふれた水が入り、お母さんとおばあちゃんがバケツとちりとりを使って水かきをしていました。わたしの家は、お店をやっているの、商品がぬれないように守るのがとてもたいへんでした。

さいしょは、うらの八まん様から流れてきた水が、店の横からものすごい勢いで入ってきました。そのあと、店の前のそっこうの水があふれ、店の中まで入ってきたのです。入ってくる水を止めるため、いらなくなったこたつがけのカバーやバスタオルなどでひしに止めました。お母さんは、「土のうがあればよかったな……。」と言っていました。

大雨がふって二日後、お父さんとひじりお姉ちゃんと、わたしの友だちのすず花ちゃんのお父さんとたくまくんとすず花ちゃんとわたしで、土しゃさいがいのあった所を見に行きました。そのげん場を見て、わたしはびっくりしました。なぜかという、川の両はしが土しゃくずれにあり、石がきの所がくずれ落ちていたからです。わたしは、じょうぶな石がきがあんなひどいことになるのをはじめてみたので、足が止まってしまいました。そして、「大雨ってこわいな……。」とつぶやいてしまいました。そのあと、道ろの土しゃくずれを見ました。道ろの右がわにぼかっとながながあいていて、工事をしている人がとてもたいへんそうでした。

わたしは、土しゃさいがいのニュースで人が亡くなったり、家がこわされたりしているのを見たことがあります。でも、わたしの住んでいる町にもそんなことがおきるなんて、思ってもみませんでした。今回のさいがいで、わたしはしぜんのおそろしさを知りました。もし、また今度こんなさいがいがおきて、わたしは、自分の身は自分でしっかりと守り上手にひなんしたいと思います。でも、もう二度とあんなおそろしいさいがいがおきないといいです。

## 優秀賞

川瀬 茉莉(かわせ まこ) 山辺町立作谷沢小学校 4年

### 『まさかうちの目の前が』

「今日の雨はいつもとちがう。」

7月27日、この日は一人ですす番をしていました。午前9時までは晴れていました。しかし1時間もしないうちに、急に雨が降ってきました。その雨の音がすごかったのです。屋根にあたる水てきのつづが大きくて、ふつうは「ザー、ザー。」という音なのに、この時は「パン、パン。」と石でも落ちてきているみたいな音がしました。

10時ごろには、雷も鳴りだし、その音も「ゴロゴロ」ではなく、すぐ近くに落ちた感じで「バッキーン。」と何かがさけるようなとても大きい音がしました。

ものすごい雨が降り続け、家の前を流れている川の水がどんどんふえていきました。色も、ふだんはとてもきれいなのに、コーヒー色になり、いつの間にかどろ水でチョコレート色になっていました。「うらの山がくずれたらどうしよう。」と不安で不安でしょうがありませんでした。

その時、家に電話がかかってきました。「すごい雨だけど、いけたらむかえに行くからね。」お母さんが無事だった事を知ったことと、おかあさんがわたしの事を心配してくれていたんだとわかったのと、きんちょうがとけてホッとしました。

12時をすぎたころ、おかあさんがやっとうちに着き、急いでおかあさんの車に乗りました。おかあさんのつとめ先に行く中、5月1日に学校で土砂さい害について勉強したことを思い出しました。もけいの山で、土砂が家を押し流してしまう実験をみて、「こんな風になるんだ。でも、わたしの家は川の上流にあるから、きっと大じょうぶ。」とどこか他人事のように思っていました。

ところが、お母さんの仕事場にひなんしていたら、同じ地区に住んでいる阿部さんがきてくださり、「大変だ。川瀬さんの家が流されそう。」と教えてくださりました。びっくりして、急いで家にもどってみると、信じられないじょうたいになっていました。橋の下に流されてきた大きな木の根と木の枝がひっかかり、それが原因で川の水があふれかえっていました。川の流れが変わったことで、家の方にもどんどん水がたまっていました。

「まさかうちの目の前がこんな風になっているなんて……。」

部活動から帰った姉がつぶやきました。このままでは、家ごとわたしたちも流されるおそれがあったので、家から急いで服など必要な物をリュックに入れて運びだし、「ふ人の家」というひなん場所に行きました。

幸い、食べ物地区の方々からパンやカップラーメンを差し入れてくださり、わざわざそばをうって持ってきてくださった方までいて、本当にありがたかったです。

次の日、午前6時半ごろ、家のところに行ったら8時ごろには消防団の人や近所の方などたくさん集まって、家のまわりをきれいにしてくださいました。小屋の中にはたくさんのどろがたまっていたので、それをはきだす作業もしていただきました。

自然の力は、かんたんに人が作ったものをこわしてしまうというおそろしい体験もりましたが、それ以上にこまっているわたしたちのために助けてくださる人達の心の温かさも知ることができた気がします。

この日から、大雨になりそうな時は、いざという時のために2階に行くようになりました。自分でできる身の守り方をこころがけるようにしています。そして、いつか災害で困っている人がいたら、今回お世話になったおん返しを少しでもしたいなと思いました。



## 審査風景



## 応募状況

### <ご応募いただいた学校>

(敬称略、順不同)

小 学 校	
山形市立西小学校	新庄市立日新小学校
上山市立西郷第一小学校	南陽市立荻小学校
山辺町立作谷沢小学校	川西町立吉島小学校
寒河江市立南部小学校	長井市立豊田小学校
寒河江市立醍醐小学校	白鷹町立鮎貝小学校
河北町立溝延小学校	飯豊町立第二小学校
東根市立大森小学校	鶴岡市立朝日小学校
東根市立東根中部小学校	酒田市立富士見小学校

中 学 校
山形市立第四中学校
山形市立第十中学校
山辺町立山辺中学校
米沢市立第四中学校
米沢市立南原中学校
高島町立第一中学校

	応募学校数	絵 画	作 文
小 学 校	16	43	2
中 学 校	6	23	1
計	22	66	3



# たくさんのご応募ありがとうございました！